

## スペインの一般溶融亜鉛めっき産業

J L Ruiz (Asociación Técnica Española de Galvanización, Spain)

### 概要

本論文では、スペインの一般溶融亜鉛めっき産業の現状と最近10年間の発展、主要な市場、将来の展望、将来の課題について説明する。本論文では、ヨーロッパ一般溶融亜鉛鍍金協会(European General Galvanizers Association)の会員である他のヨーロッパ諸国と比較しながら、スペインの一般溶融亜鉛めっき部門の状況についても説明する。

### 結論と展望

スペインの一般溶融亜鉛めっき産業は、大規模で持続的な成長が数年続いた後、生産設備が大きすぎるために悪化して、すぐにゼロ成長またはマイナス成長に直面するだろう。

特に建物・建築においては、世界経済が全般的に回復するまでは、スペインで現在行われている輸送インフラへの公共投資とエネルギー生産が、この部門の活動を維持するために重要な刺激となる。

この状況において、政府が初めて3年計画を採用したことについては言及する価値がある。これは50メガワットの太陽熱発電所20箇所の第1次設置を計画していて、次の3年間にわたり40万トンの亜鉛めっき鋼の需要を生み出すと考えられる。これらの投資が合計設置出力約4,000～5,000メガワット到達を目指す将来計画の範囲内で継続される予定であることは歓迎される。これは、中期的に亜鉛めっきの活動を維持するために非常に重要である。

スペインの建物・建築市場は他のヨーロッパ諸国のような発展にはまだ達していない。この市場への亜鉛めっき鋼の市場浸透の増加は、スペインの亜鉛めっき部門にとって最重要課題である。この領域においてATEGを通じて成長したにもかかわらず、建物・建築市場での亜鉛めっき鋼の市場浸透を増加させるためには、依然として、亜鉛めっき部門がさらなる投資と決定的な取り組みをする必要がある。そのためには、耐久性、省資源、建築の持続力に関してこれらの材料がもつ価値をもっと強調することが必要である。

中長期にわたるスペインの一般溶融亜鉛めっき産業の継続的な発展を保証するためには、この努力を成功させることが不可欠である。街路備品、運輸、公益事業のような現在最も重要な市場部門において将来停滞することが不可避的であることを考慮すると、これは特に重要である。これらの部門は、近隣のヨーロッパ先進諸国で起こったのと同じように、すぐに成熟期に達するであろう。そして、スペインの産業はこの成熟期が訪れるのに備える必要がある。